

2019年度山梨学院短期大学教員免許状更新講習

シラバス			
講習名	【選択】図画工作科教育法特論Ⅱ（再考・造形活動の意味と役割）		
講習期間	2019年8月13日（火）	時間数	6時間
教室名	21号館104図画工作室（予定）	受講定員	30名
担当講師	伊藤 美輝（保育科教授）		
講義概要	図画工作科教育法特論Ⅱ（再考・造形活動の意味と役割）では、人にとって「描く事こと」の意味を再考する事で、図画工作科の意味と役割を改めて理解することで、児童の学びと成長に寄与できる図画工作科の指導力を獲得することをねらいとする。		
学習の目標	・図画工作科の基本的な目標及び各学年の目標と内容を確認すると共に、教科内時系列での展開と深度について理解する。		
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	「人の成長と造形活動」について、クレヨンと水彩絵の具を使用して描く事を通して、その意味と役割を再考する。	道具としての手と指の意味を、画材を使用するプロセスにおいて、Input、Outputの視点で考察して、描く概念を変えることを考察する。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	1の内容を「乳幼児期から児童へ」の観点で深める為、クレヨンと水彩絵の具を使用した表現技法を通して考える事を試みる。	ファンタジーからリアリズムへ移行する時期の意味と課題について、クレヨンと水彩絵の具を組み合わせた表現から考察する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	「造形の基本過程・環境との関わりと表現」について、針金を主体とし様々な素材を使用してオブジェの制作を通して考える。	造形活動の要素1「きる、はる、ぬる、まるめる、こねる」の視点で、素材に触れ関わり意味づけをする表現から考察する。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	造形あそびにおける「様々な素材・画材による表現行為の拡大」について、素材・画材の視点で考える事を、グループ制作として展開する。	造形活動の要素2「素材、道具、原理」、ミクストメディア技法の意味と造形活動の活性化について考察する。クリアシートを支持体治したとして光と影を楽しむ。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
	16:50～	免許状更新講習受講者評価書記入（免許状更新講習受講者）等	
履修上の注意事項等			
毎時間、講義内容を要約する受講レポートを作成します。			
講義で使用する素材画材は、教室に準備してあります。			
制作活動が伴いますので、活動しやすい服装で受講してください。			

2019年度山梨学院短期大学教員免許状更新講習

シラバス			
講習名	【選択】図画工作科教育法特論Ⅱ（総合科目としての図画工作科の可能性）		
講習期間	2019年8月14日（水）	時間数	6時間
教室名	21号館104図画工作室（予定）	受講定員	30名
担当講師	伊藤 美輝（保育科教授）		
講義概要	図画工作科教育法特論Ⅱ（総合科目としての図画工作科の可能性）では、児童の学びと成長に寄与できる図画工作科の指導力を獲得する為に、図画工作科を構成する総合的要素から他教科との関連性を含んだ授業が展開できる視点を得ることをねらいとする。		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> 図画工作科を構成する総合的要素から他教科との関連性を検討する。 造形と科学の視点で、その可能性について作品制作を通して理解する。 		
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	「現代美術と図画工作科の関係」について、20世紀後半から現在に至るモダンアート作品を鑑賞するとともに、図画工作科と他教科との合科の視点で制作をおこなう。	20世紀後半の美術表現の拡大と、教育における造形表現の変容について考察する。「浮かぶ作品」をグループで制作して、図画工作と生活科及び理科の合科の意味を考える。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	図画工作科と他教科との合科の視点で、生活素材を使用した制作をおこない、図画工作科と生活科との関係を考える。※1の続き	「浮かぶ作品」としてグループでソーラーバルーンを制作して飛ばし、「空気」の視点で造形活動をおこない、造形と科学を考察する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	図画工作科の他教科との合科の視点でオブジェの制作をおこない、図画工作科と算数科・理科との関係を考える。	針金とメタル素材を素材としたオブジェ制作と体験して「バランスと動き」をテーマにした造形活動をおこない、教科間の関係性を考察する。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	本講習でおこなった、全ての制作のプロセスにおける共通項を「学び」の視点で再考して、図画工作科の可能性について考える。	紙等を素材としたロケットを制作して飛ばす活動から「失敗と発見」の関係を考え、その過程における「学び」について考察する。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
	16:50～	免許状更新講習受講者評価書記入（免許状更新講習受講者）等	
履修上の注意事項等			
<p>毎時間、講義内容を要約する受講レポートを作成します。</p> <p>講義で使用する素材画材は、教室に準備してあります。</p> <p>制作活動が伴いますので、活動しやすい服装で受講してください。</p>			

2019年度山梨学院短期大学教員免許状更新講習

シラバス			
講習名	【選択】国語科概論（国語科教育の課題と展望）		
講習期間	2019年8月20日（火）	時間数	6時間
教室名	サザンタワー4階401教室（予定）	受講定員	50名
担当講師	松野洋人（保育科教授）		
講義概要	義務教育国語科に課せられている使命は何か、国語科という教科の意義と特質を確認しつつ、現実に各教室で行われている授業の問題点を、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」それぞれの領域・事項について具体的に検討し、実践的指導力の向上を図りたい。		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科という教科の意義・特質について再認識する。 ・国語の授業の現状について、問題点を認識し、改善策を考える。 		
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	国語科の意義と特質	母語教育としての国語教育の特質・役割について確認する。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	国語力とは何か	「基礎」「基本」「文化」をキーワードに国語力の内容を確認する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	「話すこと・聞くこと」「書くこと」指導の現状と課題	左記の領域の指導上の課題を具体的に解明する。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」指導の現状と課題	左記の領域の指導上の課題を具体的に解明する。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
	16:50～	免許状更新講習受講者評価書記入（免許状更新講習受講者）等	
履修上の注意事項等			
各学校種における『学習指導要領解説・国語編』を持参すること。			

2019年度山梨学院短期大学教員免許状更新講習

シラバス			
講習名	【選択】国語科概論（国語科教育の新動向）		
講習期間	2019年8月21日(水)	時間数	6時間
教室名	サザンタワー4階401教室（予定）	受講定員	50名
担当講師	松野洋人（保育科教授）		
講義概要	小中学校においては、新しい学習指導要領の発表を受け、授業改善が進行中である。しかし、現場からは、内容の理解や具体的対応に苦慮しているという声も聞こえてくる。新学習指導要領をも含め、小学校を中心とした国語科教育の新たな動向について理解を深め、実践的指導力の向上を図りたい。		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領改訂のポイントについて理解を深める。 ・「評価法」「個の処遇」「教授と自学」等、今日的教育課題について理解を深める。 		
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	教育課程改訂の方向性	新学習指導要領の特質、改訂点について確認する。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	評価の方法	評価の現状と改善点について、具体的に確認する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	「個に応じる」授業の在り方、「自ら学ぶ」児童生徒の育成	不易の課題である左記の二つのカテゴリーについて理解を深める。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	授業分析の方法	授業（国語）のビデオを視聴し、授業分析の方法を具体的に学ぶ。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
	16:50～	免許状更新講習受講者評価書記入（免許状更新講習受講者）等	
履修上の注意事項等			
各学校種における『学習指導要領解説・国語編』を持参すること。			

2019年度山梨学院短期大学教員免許状更新講習

シラバス			
講習名	【選択】保育内容特論（人間関係）（理論と実践をつなぐ）		
講習期間	2019年8月22日（木）	時間数	6時間
教室名	サザンタワー4階401教室（予定）	受講定員	50名
担当講師	山内淳子（保育科教授）		
講義概要	日々の実践の中で各保育者が捉えてきた子どもの姿を発達理論と照らし合わせることで、幼児期の子どもとの人間関係の育ちについて考察を深める。「人間関係」領域のねらい・内容を再確認し、この領域にかかわる多様な保育実践について提示し合い、その望ましいあり方を探る。		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の子どもたちの人間関係の育ちについて、理論と実践の両側面から考察を深める。 ・「人間関係」領域の意義を再確認し、この領域にかかわる望ましい保育実践のあり方を探る。 		
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	幼児期の子どもとの人間関係の育ち	実践の中で捉えてきた子どもの姿を発達理論と照らし合わせる
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	「人間関係」領域のねらい・内容	「人間関係」領域にかかわる保育実践を提示し合い、経験知を共有し、この領域の意義を再確認する
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	人間関係を育む保育実践	人間関係を育む保育実践の具体的な事例について検討する
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	人間関係を育む保育実践	人間関係を育む保育実践の具体的な事例について検討する
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
	16:50～	免許状更新講習受講者評価書記入（免許状更新講習受講者）等	
履修上の注意事項等			

2019年度山梨学院短期大学教員免許状更新講習

シラバス			
講習名	【選択】保育内容特論（人間関係）（評価視点構築の試み）		
講習期間	2019年8月23日（金）	時間数	6時間
教室名	サザンタワー4階401教室（予定）	受講定員	50名
担当講師	山内淳子（保育科教授）		
講義概要	幼児期の子どもたちの人間関係の育ちを捉える評価視点としてはどのようなものがあるか、具体的な子ども姿をもとに検討する。幼児期の子どもたちの人間関係の育ちを支える保育実践について共に考察し、改善のための評価視点を得る。		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の子どもたちの人間関係の育ちを捉える多様な評価視点を得る。 ・ 幼児期の子どもたちの人間関係の育ちを支える保育実践を振り返るための多様な評価視点を得る。 		
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	幼児期の人間関係の育ちを捉える 評価視点	既存の評価視点を確認し、課題について考える
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	幼児期の人間関係の育ちを捉える 評価視点	新たな評価視点を探る
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	幼児期の人間関係の育ちを支える 実践の評価	実践事例について共に考察をくわえる
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	幼児期の人間関係の育ちを支える 実践の評価	実践事例の考察をもとに、多様な評価視点を得る
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
	16:50～	免許状更新講習受講者評価書記入（免許状更新講習受講者）等	
履修上の注意事項等			